



# 梨花

題字/ 故西尾邑次  
元名誉会員揮毫

第72号

2023年10月25日発行  
東京鳥取県人会事務局  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-6-3  
都道府県会館10F  
電話 03(5212)9178  
FAX 03(5212)9079  
発行責任者/福井宏一郎  
編集/県人会広報部会  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/tokyokenjin/>

## 新入会員歓迎会

8月29日、歓迎会を開催しました。新入会員37名の内、23名が参加され、福井宏一郎会長の歓迎挨拶で始まり、勝部副会長による乾杯、歓談、県人会の活動報告、新入会員の自己紹介へと進み、楽しい歓迎会でした。新会員をご紹介します。(敬称略、50音順)



福井会長挨拶

東京東雲会に数年前から参加していた関係で、2022

年秋の湘南カントリークラブでの県人会ゴルフに参加させて頂いたことが最初のご縁で、鳥取県在住のいとも

東京鳥取県人会に入会するよう前々から勧められていたの

で、その2つがきっかけとなり、入会させて頂くことになりました。その後県人会のイベントで、鳥取出身の落合改め、伯桜の応援で両国国技館の大相撲観戦にも参加させて頂いたとき、とても楽しいイベントでした。

⑦音田和幸(伯耆町溝口) 東京米城会幹事会にて勝部様よりお誘い頂きま

⑧加賀田隆志(鳥取市伯耆町) 鳥取工業高校校友会東京支部の支部長をさせて頂いて

⑨柴田順子(大山町・旧中山町) 倉吉東高同窓会(東京鴨水同窓会)をきっかけに本会に入会させて頂きました。

⑩後藤雅将(湯梨浜町) 地元を離れて数十年たちま

⑪小林円香(東部地区) 倉吉東高同窓会(東京鴨水同窓会)をきっかけに本会に入会させて頂きました。

⑫古都賢一(米子市) 勝部様のご紹介で鳥取県人会に入会させて頂くこととなり、現在、社会福祉法人全国社会福祉協議会副会

⑬山根弘行(三朝町) 倉吉東高で陸上部と応援団に入り活動。明治大学法学部へ進み、応援団で4年間神宮球場で大声を出してました。就職は日刊スポーツ新聞社。プロ野球・巨人の担当記者や文化部の音楽担当を経験し、その後はテレビ朝日のワイドショースタッフや自分のPR会社「スリーモーニング」(三朝の意味です)。さらには、元TBSアナウンサー生島ヒロシさんの芸能事務所「生島企画室」で広報をやっていました。そんな折、鳥取西高出身でTBSラジオの常務取締役・武田博史さんに声をかけて頂き、東京鳥取県人会の門を叩かせて頂きました。

⑭山根優大(湯梨浜町) 山本 淳(若桜町) 松田誠司さんよりご紹介を頂きました。現在、銀座5丁

⑮山根寛樹(鳥根県安来市、米子市在住) 現在、山陰合同銀行に勤務しております。本年4月から2回目の東京勤務(単身赴任)となり、福井会長様からのご紹介により東京鳥取県人会に入会させて頂くことになりました。振り返りますと、東京をはじめとして様々な地域で公私ともに数多のご縁に恵まれ、再び東京の地で仕事させて頂けることに心から感謝いたします。会員の皆様方を議論風発、鳥取の未来を語り合いたく存じます。

⑯湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

⑰山根寛樹(鳥根県安来市、米子市在住) 現在、山陰合同銀行に勤務しております。本年4月から2回目の東京勤務(単身赴任)となり、福井会長様からのご紹介により東京鳥取県人会に入会させて頂くことになりました。振り返りますと、東京をはじめとして様々な地域で公私ともに数多のご縁に恵まれ、再び東京の地で仕事させて頂けることに心から感謝いたします。会員の皆様方を議論風発、鳥取の未来を語り合いたく存じます。

⑱湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

⑲湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

⑳湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㉑湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㉒湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㉓湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㉔湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㉕湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㉖湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㉗湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㉘湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㉙湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㉚湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㉛湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㉜湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㉝湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㉞湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㉟湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㊱湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㊲湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㊳湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。

㊴湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。



デジタル、情報関連などに  
⑭平井省三(三朝町) 東京での生活も30年。今春、二人の子供も就職し、安堵しているところ、親戚の会員になられている方から、声をかけていただき、今回、同郷である妻とともに入会することになりました。現在、出向中。横浜で船舶建造に関する機関で働いています。週末は、妻と二人、美術館、博物館巡りなどをしています。  
⑮平井智子(倉吉市) 藤原孝行(湯浦町・旧東伯町) きっかけは、ふるさとに貢献したいと思った。これまでキャリアを活かしてお手伝いできればと思います。仕事は建築設備の設計、全体のコンサル業務。  
⑯古都賢一(米子市) 勝部様のご紹介で鳥取県人会に入会させて頂くこととなりました。現在、社会福祉法人全国社会福祉協議会副会長をさせて頂いており、旧厚生省に奉職し、長年、福祉、医療などに関わって参りました。ライフワークは、「地域福祉」です。  
⑰堀尾裕俊(湯浦町・旧東伯町) 東京鳥取県人会会長福井様(前東京鴨水会会長)にお声掛けいただき、入会させて頂きました。  
⑱本城将彦(西部地区) 村田 航(鳥取市・旧国府町) 昨年の4月に就職で東京へ引越して来た。地元へ帰省する機会があまり無く、知り合いも少ない環境で心細い中で地元の方々と交流する機会を設けて頂けることでは是非と思い参加した。東京に来てから美術展や映画、音楽ライブなど美術に触れることが増え、楽しい日々を送っている。都道府県で最後となってしまっ

たが、再来年開館する鳥取県立美術館の振興を祈っている。  
⑲数内雅幸(倉吉市) 福井会長に誘われ入会することになりました。現在、LPGA関係の業界団体の専務理事を務めております。  
⑳趣味の山登りも最近は、腰痛で、行けていません。  
㉑山根寛樹(鳥根県安来市、米子市在住) 現在、山陰合同銀行に勤務しております。本年4月から2回目の東京勤務(単身赴任)となり、福井会長様からのご紹介により東京鳥取県人会に入会させて頂くことになりました。振り返りますと、東京をはじめとして様々な地域で公私ともに数多のご縁に恵まれ、再び東京の地で仕事させて頂けることに心から感謝いたします。会員の皆様方を議論風発、鳥取の未来を語り合いたく存じます。  
㉒山根弘行(三朝町) 倉吉東高で陸上部と応援団に入り活動。明治大学法学部へ進み、応援団で4年間神宮球場で大声を出してました。就職は日刊スポーツ新聞社。プロ野球・巨人の担当記者や文化部の音楽担当を経験し、その後はテレビ朝日のワイドショースタッフや自分のPR会社「スリーモーニング」(三朝の意味です)。さらには、元TBSアナウンサー生島ヒロシさんの芸能事務所「生島企画室」で広報をやっていました。そんな折、鳥取西高出身でTBSラジオの常務取締役・武田博史さんに声をかけて頂き、東京鳥取県人会の門を叩かせて頂きました。  
㉓山根優大(湯梨浜町) 山本 淳(若桜町) 松田誠司さんよりご紹介を頂きました。現在、銀座5丁

目にてジェルネイルメーカーの代表取締役をしております。ブランド名はKOKOSTと言います。仕事はそれほど忙しくないのですが、通勤が片道2時間ほどかかるのと、孫の面倒をみたりするのに結構時間をとられています。仕事を辞めた後に挑戦したいこといくつかはあるのですが、現在はなかなか時間を作れておりません。ドライブや外でお酒を飲んだり、自宅でYouTubeを見たりするのは割と好きです。  
㉔湯村 光(湯梨浜町) 高校の同級生の福井宏一郎君に誘われまして入会しました。  
㉕湯村和子(倉吉市) 80歳を記念に自伝史「飛んで跳ねて80年」を綴っていた際、ふるさとを大切にしなければと改めて認識。由良育英高校での貴重な体験から、耐える力、勇気などをもらい、明治大学商学部で経営学を学び、卒業後の勤務時代は、数多くのVIP物件の仕事を手掛け、中でも秋篠宮紀子様のご結婚に伴う二人のお住まいの仕事が印象に残っています。退職後は自分の趣味で楽しむと世界ベテラン卓球選手権に参加。これからは座右の銘「バランス」を大事に健康で心豊かに過ごしたい。



歓談中

くらよし市制70周年  
お祝いイベント開催中!  
お祝いイベント開催中!  
お祝いイベント開催中!

ECOで「みらい」を創造する。  
株式会社 ミスホールディングス  
代表取締役CEO 三輪 陽通  
東京本部 東京都台東区柳橋1丁目3-6  
VORT浅草橋駅前1110階  
Tel: 03-6263-0480  
本社 鳥取県境港市昭和町5番地17

株式会社 チュウ  
取締役会長 大田 英二  
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 20-7  
1TOビル 6F  
TEL 03-5640-8122  
FAX 03-5640-8100

株式会社 不二家  
FUJIIA 代表取締役会長 山田 憲典  
〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6  
Tel: 03-5978-8100

TOTTORI BANK 鳥取銀行  
東京事務所  
所長 門脇 崇  
〒101-0048 東京都千代田区神田町 2-2-12  
神田町ビル5階  
TEL 03-5295-8111 FAX 03-5295-8117  
http://www.tottoribank.co.jp/

# 「東京鳥取県人会120周年」に寄せて

東京鳥取県人会会長 福井 宏一郎

東京鳥取県人会が設立されたのは1903年(明治36年)で、日露戦争が始まる一年前の事です。時代劇の江戸時代から既に数十年たっています。鳥取県内の鉄道はまだありません。まず境港から米子へ、そして倉吉、更に鳥取へ伸ばそうと、やっと鉄道建設の工事が始まったばかりの頃です。東京に行くには、鳥取市からなら、まず大阪へと歩いて一週間、それから…。あるいは海路で船を乗り継ぎながら下関を回って瀬戸内海を通り、まず大阪に着くまで2週間、それから…。

遠路はるばる東京に来て、鳥取県人が集まって、「東京因伯郷友会」を設立し、遠い古里を偲び、お互いの親睦を深めてから、今年120周年になります。こんなに長い歴史を持つ県人会は珍しいでしょう。時代は移り、今では最大のイベントである、年に一度の秋の総会・懇親の集いに、鳥取県からも知事や市町村長、団体の長など多数が参加されています。会員との交流を深めています。25年前に復刊した会報紙「梨花」も、年に数回の発刊を続け、今号で72号となりました。

会員イベントも年間を通じて企画されています。年初の



賀詞交換会に始まり、新入会員歓迎会、歌舞伎鑑賞会、観劇会、美術鑑賞会、グルメの会、囲碁大会、ゴルフコンペ、大相撲観戦会、サッカー(カインナー)観戦会、鳥取県ゆかりの講演会などなど。このような多彩で多数のイベント活動は、他県の県人会には類を見ないものです。会員の皆様と話し合いながら、会員イベントを楽しく豊かなものにしていきたいと思います。

コロナ後の世界が動き出しましたが、今やAI革命と旧来の戦争危機が併存する大変革の時代となりました。その中で県人会は、今年120周年を節目に、変わらず会員相互の親睦と郷土への寄与を深化させていきたいと思います。

## 東京鳥取県人会120周年 東京鳥取県人会の歴史

復刊東京鳥取県人会は、1903年に旧鳥取藩主池田家ゆかりの人々を中心に「東京因伯郷友会」として発足し、戦後現在の名称に改め、2023年で設立120周年を迎える歴史と伝統を誇る団体です。

東京因伯郷友会の設立にあたり、総裁には旧鳥取藩主池田家の池田仲博(1903～1948年)とし、初代会長には鳥取市出身の奥田義人氏(文部大臣、東京市長等を歴任、1903～1917年)が就任しました。このころ、会員たちが参集して池田家邸内で開催される春・秋2回の総会には、鳥取県出身の専門学校生や大学生も多数招待され、お互いの親睦を深めたということです。

その後、1948年には池田仲博総裁の死去に伴い、総裁制が廃止され、会長及び役員が総会での投票により決定することや年会費の徴収など、現在の東京鳥取県人会にも通じる組織体制が確立しました。

田子富彦6代目会長(神戸製鉄副社長、1955～1963年)の時代には、名称を現在の東京鳥取県人会へと変更し、併せて副会長及び常任幹事を東中、西部から均等に選出する制度改革も行われました。

終戦前後の混乱の中、活動が低迷していた時期もありましたが、1963年に就任した澤田廉三7代目会長(1963～1970年)の時代には、待望の会報誌が創刊されました。表題は澤田会長の発案により県花にちなんだ「梨花」(春と秋の年2回発行)とされました。その後、梨花の発行は1972年の10号をもって一旦休刊となりましたが、県人会創立95周年の1998年に、会員からの強い要望により26年ぶりに復刊し、現在に至るまで年2～3回の発行を続けており、東京鳥取県人会を代表する活動の一つとなっています。(2023年8月現在71号まで発行)

その他、東京鳥取県人会においては、1950年の鳥取大学建設の際に100万円以上の寄付金を集めたり、1952年の鳥取大火の際には義援金募集大運動などが大々的に展開されるなど、郷土の一大事には会を挙げて活動を展開しています。

近年における東京鳥取県人会の取組みとしては、毎年会員が一堂に会して親睦を深める総会及び懇親の集いを開催し、はるばる鳥取県から知事や市町村長にも参加いただき、会員との交流を深めております。また、ゴ



県人会紋章

### 県人会紋章

昭和29年頃、東京鳥取県人会の前身、東京因伯郷友会の会旗を作成する際に用いられた。この角輪の紋は、もともと池田藩政時代に陣中で使っていたものであったが(池田家の家紋は丸にあげは蝶、当時の会の創立はすべて池田家の加護尽力によって発足し、また今後いついふまでも池田家に対する感謝の意を含めることとして会旗に加えられ、東京鳥取県人会となった今日まで引き継がれている。

### 黒門

江戸時代に因幡・伯耆32万石を治めた大名鳥取池田家。幕府の徳川家とも姻戚関係にあり、その権勢は大きかったようです。そして、「鳥取藩の縁の地」が、東京の上野にあります。

「黒門」は、もともと丸の内大名小路(現丸の内3丁目)にあった鳥取藩池田家江戸上屋敷の正門でした。正式には「旧因州池田屋敷表門」と言います。

明治になって当時の東宮御所(現高松宮邸)の正門として移され、1947年(昭和22年)大蔵省所管となり、さらに1954年(昭和29年)に上野公園東京国立博物館構内に移築・保存され現在に至っています。

場所は上野公園のなか、東京国立博物館の構内にありますが、博物館に面した道路沿いからもその重厚で立派な門を見ることが出来ます。

東京の武家門としては、東大の赤門(加賀藩・前田家屋敷門)が有名ですが、その威風堂々の風格から通称「上野の黒門」と呼ばれています。

## 夕刻の波とぶつかり稽古

石井 憲正 (湯梨浜町出身)

〈海辺の町に住む〉  
2021年7月、私(石井)は東京都渋谷区代々木公園から神奈川県逗子市に移転してきた。この海辺の町に住みついて2年が過ぎた。東京へは週1、2回、地方へは毎月1度出張しているが、それ以外は人間の研究と執筆をしている。

〈理想郷だった〉  
私の仕事柄、特殊な才能を持った人と知り合うのだが、そのリートジャンルから逃れるた

### めだつたから、海に近いマンションに決めた。

徒歩数分に小さな港があり旨い魚や朝採れの新鮮野菜が手に入り、潮風も有難い。極め付きは部屋から富士山が見える。マサカこんな日が来るとは!である。理想郷じゃないか。

### 〈鼓膜再生術リリテンパ〉

私は松崎の出身で、子供の頃東郷湖や泊の海でよく遊んだものだ。10歳の頃中耳炎で鼓膜を失い以来右耳だけで生きてきたが、年齢と共に難聴が酷くなり仕事に支障をきたし始めた。だが補聴器では満足な聴力が得られない。

昨年、新しい鼓膜再生術(リ

### 〈波とぶつかり稽古〉

数分歩くと鎌倉材木座海水浴場がある。遠浅だが、風のある日は膝下の水深でも1.2mほどの激しい強い波が打ち寄せ、その波に身体を100%つかける。しつかり踏ん張らないと波に流される。緊張と緩和を繰り返しい運動になっている。夏の夕暮れのひとつ、喜寿を超えて新しい楽しみが増えた。

### ティンパ)を知り、今年の初め

簡単な手術をして鼓膜が再生できた。70年ぶりに両耳で聴く音に戸惑いもあるが一歩前進だ。おまけに諦めていた海水浴の許可も出た。



残存する最も古い「会員名簿」(鳥取県東京本部所蔵)



第7代会長 澤田廉三 (1888~1970)



第6代会長 田子富彦 (1884~1983)



初代会長 奥田義人 (1860~1917) Wikipediaより



鳥取藩江戸上屋敷の正門「黒門」

### ふるさとの温泉自慢

#### 吉岡温泉

吉岡温泉は鳥取の奥座敷と言われ、千年以上前の応和2年(962年)時に開湯されたと言われる美しい自然の残る温泉です。

江戸期の『吉岡温泉記』で紹介されている言い伝えによると、葦岡長者が顔に悪瘡のできた娘の病を治すため祈願したところ、満願の夜お告げがあり、お告げに従ってうづろ田を掘ると、薬師如来像と共に湯が湧き出てきたそうです。早速その湯を汲んで娘の瘡を洗うと、元の美しい姿となったと言われています。

この言い伝えから、吉岡温泉は「美肌伝説の湯」とも呼ばれています。

現在、吉岡温泉街には10軒の温泉街

旅館と共同浴場「一ノ湯」、足湯(華湯・やすらぎ湯)が2ヶ所あります。

吉岡温泉の源泉の温度は51℃、各旅館でも全国平均の40℃に比べていくぶん高めです。

泉質はやわらかく、冷え性や関節痛に効くと言われています。

湖山地の南側、三方を山に囲まれた山間の静かな温泉郷は、毎年4月に開催される「花湯まつり」や初夏の「ホタルまつり」で賑わいます。

**泉質と効能**

- ・泉質：単純泉(弱アルカリ性 低張性高温泉)
- ・適応症：神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器症、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進

吉岡温泉は三方を山に囲まれた山間にあり、昭和の佇まいをそのまま残した温泉街。徒歩10分ほどの範囲にごんまりとした温泉旅館がいくつも並んでいます。どの旅館も「おかえりなさい」の気持ちとおいしい料理、熱々のお湯でお客さまをお迎えします。

以上、北川旅館から情報提供していただきました。

「源泉かけ流しの温泉と地産地消にこだわった手作りの料理が自慢の宿で、のんびりゆっくり過ごしたい方にお勧めです。」



1日2組限定の小さな旅館です。『梨花を見た』でサービスがあります。」とのコメント共に。

台風7号により、鳥取県は鳥取市佐治町、八頭町にて多大な被害を受けました。ふるさと納税制度など利用して、ふるさとを応援ねがいます。

#### 〇災害復旧支援のお願い

##### (八頭町役場)

令和5年8月15日に上陸した台風7号に伴う記録的な豪雨により、八頭町では、農地等への浸水害、道路や護岸の崩落、橋の流出、山林の土砂崩れなどの甚大な被害が発生しております。

そんな中、8月20日(日)に「第13回集まり」が開催され、SUZUKIの大型バイク「隼」の聖地である若桜鉄道車庫、メイン会場の船岡竹林公園に、2300台のライダーが集結しました。

(例)SUZUKI一輪のご厚意による募金活動をはじめ、全国から(中には台湾からご夫婦で駆けつけたライダーの方々から)は八頭町を応援したいの思いも強く、そうした声や行動が、被災地に勇気と元気を与えてくれました。

八頭町では、ふるさと納税の制度を活用した災害支援寄附金の受付を開始しました。

お寄せいただいた寄附金は、災害復旧事業等に活用させていただきます。

#### 〇台風7号に係る災害復旧支援について(鳥取県)

令和5年8月15日に上陸した台風7号の影響で、鳥取県内では公共土木施設、農林施設、上下水道施設等に被害が発生するとともに、

最大853世帯、1814名が孤立するなど甚大な被害となりました。

復旧・復興に向けて、鳥取県、鳥取市、八頭町のそれぞれのHP上でふるさと納税による皆様からのご寄附を受け付けています。



「隼」の人文字 (バイク2300台が集結した集まり)

現在、迅速な復旧・復興に向けて、町全体で取り組んでいるところですが、八頭町では、ふるさと納税の制度を活用した災害支援寄附金の受付を開始しました。

お寄せいただいた寄附金は、災害復旧事業等に活用させていただきます。



足湯(華湯、やすらぎ湯の2か所があります)



森のようちえん まるとんぼう

### 智頭町に移住してこれまでとこれから

特定非営利活動法人 智頭の森こそだち舎

理事長 西村 早栄子

東京鳥取県人会の皆さま、はじめまして！智頭町で2009年より「森のようちえん まるとんぼう」等を運営するNPOの代表をしております。西村と申します。夫が10年くらい前に、東京事務所でお世話になってきたことがあります。その節は大変お世話になりました。

私は皆さまとは逆で、東京に生まれ育ち(実家は町田)、夫が県職員となったご縁で2002年より鳥取人の仲間入りさせて頂きました(私自身も03、12まで県職員でした)。

06年より一家で智頭町に移住し、ここでの子育てが素晴らしいです。仲間達と「社会の中に田舎こそだちという選択肢をつくる！」というミッションの下、NPOの運営を行っています。

現在は、森のようちえん2園(まるたんぼう・すずばっく)、locally, choose globally(↑オルタナティブスクール(新田サドベリースクール)、シェアハウス「はじまりの家」)を運営しております。

「まるたんぼう」を立ち上げて2年目より、当園にお子さんを通わせるための移住が始まりました。当初は県内移住(鳥取市・智頭町)でしたが、11年の東日本大震災を機に、県外からの移住者が増え、現在までに67家庭、250名ほどの方が智頭町に移住くださっています。

「教育移住」の素晴らしい、定着率の高さがあると考えます。森のようちえんやオルタナティブスクールへの移住では、価値観を共にする仲間達と出会い、「コミュニティ」を形成することが多く、卒園後・卒業後もそのまま智頭町に定着してくださるのです。これまでの定着率は約75%となっております。これは特筆すべきことだと思います。

現在、私自身は大学4年生を筆頭に、高校生、中学生と3人の子育て中ですが、ここ数年、子ども達を海外に出す機会が増えてきました。まさに、「grow locally, choose globally」(↑

勝手に造詣しましたが笑)。田舎育ちの子ども達をどどんと世界に羽ばたかせたいと目論んでいます。



筆者と園児たち



森のようちえん まるとんぼう

### 倉吉市「夢倉とつふ工房」オープン



倉吉市の観光名所である白壁土蔵群・赤瓦地域に、障害者が豆腐製造に携わる「夢倉とつふ工房」が5月2日オープンしました。

「夢倉とつふ工房」は、倉吉市の社会福祉法人「和(なごみ)」が設立・運営し、既存の豆腐料理専門店「夢倉」と連携し、障害者たちによる一貫生産体制を構築するために、大豆の栽培から製造まで手掛ける工房です。

オープンセレモニーには、平井伸治知事や広田一恭倉吉市長他が参加し、テープカットを行い、施設のオープンを祝いました。

工房は国の重要伝統的建造物群保存地区に位置し、景観に合わせ

た木造の建物であり、地域の歴史的背景に調和しています。

施設では10人ほどの障害者が豆腐の製造に従事し、大豆の栽培から始まり、大豆調整、豆乳生産、最終的な豆腐製造に至るまで、一貫したプロセスを管理しています。

使用される大豆は、鳥取県内で栽培される「星のめぐみ」と「三朝神倉大豆」を独自にブレンドし、クリーミーな味わいの豆腐を提供しています。

「夢倉とつふ工房」は、障害者の就労支援を通じて、地域社会と連携を深め、新鮮で安全な豆腐を提供し、地域コミュニティに貢献

することを目指します。

また、工房の製品は「夢倉」や近隣のレストランで提供されるほか、県内の旅館や飲食店の提供、JAでの販売など、多くの展開が予定されています。

「夢倉とつふ工房」のオープンは、障害者支援と地域社会との協力を通じて、地域経済と福祉の向上に寄与する重要なステップとなりました。

今後も、障害者の働く場所としての施設としての役割を果たし、地域に新たな価値をもたらすことが期待されています。

### 名古屋場所と千秋楽打ち上げパーティ

藤井田多恵子(倉吉出身)

名古屋場所14日目、令和の怪物と言われるようになった「伯桜鵬」の応援に、倉吉から駆けつけた倉吉市長の広田一恭氏、倉吉商工会議所会頭の河越行夫氏、副会頭の田田英二(チューブ会長)氏など総勢26人の応援団に、東京から私達スポーツ観戦仲間2名が合流し、「琴の若」「伯桜鵬」に熱い声援を送りました。

伯桜鵬は前日の取組で肩を痛めたようで心配していましたが、見事に優勝候補の北勝富士に土を付け千秋楽の優勝争いに残り、場内が大いに盛り上がりました。その後の取組、琴の若も宇良を破り、勝ち星を二桁にして、倉吉応援団は最高に盛り上がりました。

伯桜鵬が新入幕優勝という109年ぶりの歴史的快挙の可能性が出てきました。これは千載一遇のチャンスと千秋楽がどうしても見たく、急遽予定を変更してネットで入場券を購入しました。

千秋楽、やつと関脇・豊昇龍との一番、手に汗を握り祈るように応援しましたが、思わぬ敗れ、優勝決定戦に進出は果たせませんでした。伯桜鵬の鬚姿、琴の若の「琴檜」襲名、楽しみにしています。



伯桜鵬と石津佳奈さん(左)、私(右)

部屋千秋楽打ち上げパーティに参加できるという喜びがありました。

白桜鵬は人気者で多くのファンに囲まれ傍に寄れませんでした。伯桜鵬の父上、お兄さんが素早く伯桜鵬を引っ張って連れて来て下さり、一緒に撮影することが出来ました。その時、「倉吉から来ました。頑張ってください」と伝えるのが精一杯でした。

### 4年ぶりに開催「東因会」懇親会

三角 幸子

去る7月8日、新橋駅前の「ビストロカフェ」もてなし家にて、関東在住の鳥取県出身者やゆかりの方々が集う「東因会」の懇親会が開かれました。

この会は、初代国連大使で第7代県人会会長を務めた澤田三三氏など地元の前先輩が創設され、長年にわたって受け継がれてきましたが、残念ながら他の町村は鳥取市と合併し、現在岩美郡に残るのは岩美町のみです。

当日は、コロナ禍のなか開催を待ちわびていた会員に加え、来賓として堀田鳥取県東京本部長、長尾東京鳥取県人会副会長も出席。地元からは長戸岩美町長、足立町議会議長が参加して地元の近況を伝えました。また、澤田三三氏の子息・故久雄氏夫人でい



みふるさと大使の声楽家・安田祥子さんも出席され、合わせて出席者数40名とかなかの盛会でした。

ちなみに全出席者に岩美町の会社作製の「Love Iwami」の缶バッジを着けていただいたのは、初の試みです。

いちばん盛り上がりつつのは、地酒、板わかめ、砂丘らっきょう、鳥取和牛レトルレなどを景品にした全員参加のジャンケン大会。大の大人が真剣に勝負している様子は何とも微笑ましいひとときでした。

帰りには、全員に岩美町からのお土産として八タ八タとカレイの干物が渡され、それぞれよい時間を過ごせたことがうかがえる表情で帰路に着いていきました。

### 地方創生ばなし《その21》

「株式会社フジタ」

代表取締役 藤田 豊博

鳥取県岩美郡岩美町岩常にある株式会社フジタでは、2050年の「脱炭素社会の実現」に向けた打開策として、屋上緑化の観点から高い注目を得ている先代社長藤田道明が品種改良し生み出した「常緑キリンソウ」(トットリフジタ1号)と、現社長藤田豊博(55)が開発した、パフォーマンスを最大限発揮するための緑化システムである「常緑キリンソウ袋方式」の生産・販売をしています。

更に、息子で三代目に当たる藤田大地(20)が大学生である株式会社ウイステラを設立し現在、首都圏を中心に営業活動を行っています。

環境問題に対してより密接に関わり貢献するならば、長期的に解決すべき問題だけでなく豪雨などの今起きている

災害に対応できる製品が必要であると考え、開発をしていたところ、テレビ東京が毎週「9月1日放映に取り上げ」て頂きました。

番組で紹介された新製品は、従来の屋上緑化の能力は健在のまま、豪雨による災害を屋上部分で一時的に水を貯め時間差で排水を行う「遅水」をすることで排水設備への負担が減り、冠水被害をはじめとした様々な水害を軽減させることができます。

更に新たな緑化システムとして高い評価を得た「常緑キリンソウ袋方式」はこの度公益社団法人発明協会が主催する地方発明表彰にて、栄えある特許庁長官賞に選ばれました。

今後弊社は「脱炭素社会の実現」と豪雨をはじめとした自然災害に対して皆様に弊社「常緑キリンソウ袋方式」



常緑キリンソウ袋方式



施工後3ヶ月経過写真



汐留の商談先で三代目と

を導入していただき、緑化を行うことで諸問題の解決のため尽力していきます。

### 交流部会だより

第53回 因伯オープン 報告

奥田 真三

5月23日(火) 東京鳥取県人会懇親ゴルフ会 第53回因伯オープンが、千葉県市原市の名門 姉ヶ崎カントリー倶楽部に於いて開催されました。

あいにく朝から雨天、前半のみのプレーとなるかも、と心配されましたが、そこはゴルフ好きのメンバールばかり、ほぼ全員が18ホールをプレー。終日雨天をついてのプレーとなりましたが、それなりに楽しんで頂けたようです。

個人の部 優勝は市川 祐一郎さん(ベスグロ)、準優勝は牧博志さん、第3位福光靖さんといずれも中部地区出身者が占め、従って団体も中部地区が優勝となりました。団体準優勝が東部地区、第3位が西部地区となりました。

悪コンディションの下、打数制限なしの新ペリアの計算方式での競技でしたが、多くのメンバールが悪戦苦闘する中、バーディーをとる強者もおられました。結局アウト・イン共に安定した実力(?)を発揮された方が、上位を占める結果となりました。参加者は全員で23名、内女性は4名でした。全員体調を崩されることなく最後までプレーされ幹事一同ほっと胸をなでおろした次第です。

勝は牧博志さん、第3位福光靖さんといずれも中部地区出身者が占め、従って団体も中部地区が優勝となりました。団体準優勝が東部地区、第3位が西部地区となりました。

悪コンディションの下、打数制限なしの新ペリアの計算方式での競技でしたが、多くのメンバールが悪戦苦闘する中、バーディーをとる強者もおられました。結局アウト・イン共に安定した実力(?)を発揮された方が、上位を占める結果となりました。参加者は全員で23名、内女性は4名でした。全員体調を崩されることなく最後までプレーされ幹事一同ほっと胸をなでおろした次第です。



交流部会

### 【編集後記】

今年も多くの新会員を迎え、1面を飾りました。今年も東京鳥取県人会創設120周年になります。早速、創設当時のことを綴った「型化」を基に、事務局真野将徳(ゆきのり)さんにまとめていただきました。今回、故郷各地からお便りが届きましたが、温泉情報など今後継続したいのでお便りお待ちしております。また、ふるさと岩美郡の「東因会」懇親会の模様を寄せていただきました。この「ふるさと」の会も継続したいので、お便りお待ちしております。ただ、伯桜鵬関の回復を祈るばかりです。会員からの近況便り(500字)、読者の感想(200字)をお待ちしています。事務局宛て手紙、FAXでお寄せ下さい。 編集者

### 全国新酒鑑評会 金賞受賞蔵

千代むすび酒造(株)

代表取締役 岡空 晴夫

〒684-0004 鳥取県境港市大正町131  
TEL 0859-42-3191 FAX 0859-42-3515



### 東京鳥取県人会

東京鳥取県人会は、関東近辺在住の鳥取県出身者などから組織される団体です。約700名の会員を擁し、年1回の総会のほか、各種交流会などを行っています。皆様の御入会をお待ちしております。 <https://www.pref.tottori.lg.jp/tokyokenjin/>